

とちぎ
2008

県政のあゆみ

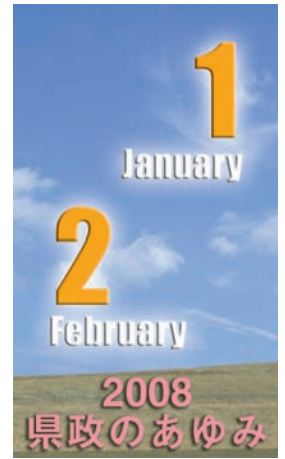
2009年3月号別冊

2009年3月1日発行
編集・発行：栃木県広報協会
県のホームページ
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/>



栃木県農業試験場いちご研究所開所式





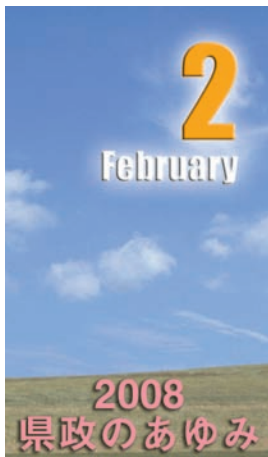
県産農産物を香港でPR 海外で初の展示商談会

「香港日本人倶楽部」で、本県の農産物や加工品の輸出を促進するために、海外で初めての展示商談会を1月18日に開催しました。これまで、海外の消費者に対して、香港やシンガポールなどの百貨店において県産農産物をPRし、高い評価を受けてきました。さらに、海外で、より多くの県産農産物を継続的に取り扱ってもらえるよう、香港の百貨店やレストランなどの食品バイヤーなどを対象に県マーケティング協会と一緒に実施しました。展示商談会には「なすひかり」「とちおとめ」「にっこり」のほか、ニラ、ほうれん草、日本酒漬物などを出品しました。

迅速・的確な災害対応へ 危機管理センターを設置

新県庁舎8階に整備された「危機管理センター」は災害対策の新たな拠点となります。センターは、市町、消防本部、防災関係機関などに設置された防災情報端末と光回線で接続されており、各機関と情報を共有し、迅速・的確な災害対応が可能となるものです。100インチ大型スクリーンや、200インチ8面マルチスクリーンを配備し、防災ヘリ「おおり」からのライブ映像や位置情報に代表される視覚的な情報共有ができることを主眼に置いて整備しました。





災害情報を迅速に収集 県土防災センターを開設

新庁舎整備に合わせ、大雨や地震などの災害に対応するため「県土防災センター」を開設しました。県土防災センターでは、道路や河川などの観測・災害情報を迅速に収集する機能や防災関係機関と画像による対策会議を行う機能のほか、規制案内情報を瞬時に現地に表示する機能などを有し、これまでに以上に迅速で的確な防災対策が可能になりました。県民のみならず、インターネットを通してリアルタイムで情報提供しており、県庁ホームページの県土整備部総合案内から閲覧できますので、是非、ご活用下さい。



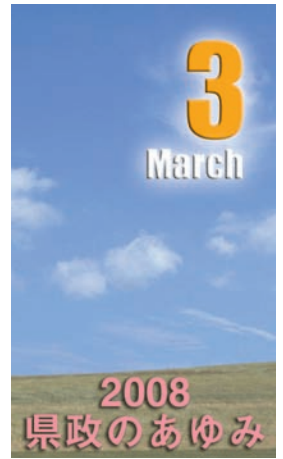
栃木警察署新庁舎が完成 安全で安心な地域づくり

栃木警察署は、栃木市室町の市街地から東北自動車道栃木IC近くの栃木市箱森町に移転し、2月4日から業務を開始しました。新庁舎は、かつての県庁所在地であった栃木市の歴史を考慮し、旧県庁本館のイメージを取り入れたほか、太陽光発電システムを導入して省エネに配慮しました。外来駐車場の収容能力はこれまでの3倍で、市木や市花をはじめ寒椿、しだれ桜などを植栽し、利便性とともに環境に配慮した警察署となっています。新庁舎で署員一丸となり、安全で安心な地域づくりに努めます。



とちぎの農業をリード 元気な農業コンクール

「栃木県元気な農業コンクール」の表彰式が、2月21日、県公館で行われました。このコンクールは、「とちぎの農業」をリードする元気で活力ある農業者などを顕彰するために創設したものです。第一回目となる本年の「とちぎ元気大賞」には、米麦の大規模経営を行う大越一雄・歌子さん（下野市）、高冷地ほづれんそつこの企業的経営を営む藤田伸一・眞理子さん（日光市）、大規模いちご経営を営む戸村弘一・美代子さん（さくら市）の3組が選ばれました。



**元気な森づくり憲章制定
4月には県民税条例施行**

とちぎの元気な森づくりを県民一人ひとりがそれぞれの立場で考え、行動を起こすための県民共通の理念を定めた「とちぎの元気な森づくり憲章」を3月に制定しました。荒廃している森林の再生を図る「元気な森づくり」と森林ボランティア活動などの支援や木を使うことの大切さの理解促進などを図る「森を育む人づくり」が始まりました。この財源として4月には「とちぎの元気な森づくり県民税条例」が施行されました。こうした取組を通して、とちぎの元気な森を次の世代に引き継いでいきます。

**安全で快適な交通を確保
宇都宮テクノ街道が部分開通**

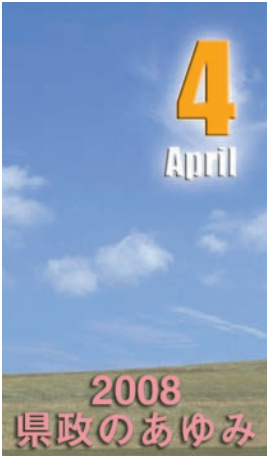
3月23日、宇都宮テクノ街道が部分開通しました。この道路は宇都宮市中心部と清原工業団地、芳賀工業団地などを結ぶ県道宇都宮向田線のバイパスです。今回は、全体計画6.2kmのうち、板戸大橋を含む4.7km区間が開通しました。開通前には鬼怒川を渡る橋付近で朝夕を中心に深刻な交通渋滞が発生していましたが、今回の開通によりこの地域での渋滞が緩和され安全で快適な交通が確保されました。なお、鬼怒川に架かる板戸大橋は長さが920mで、県が管理する橋としては最長のものとなります。



**部会活動の成果を発表
県女性農業士発足10周年**

本県農業の振興と農村における男女共同参画の促進を図るために発足した女性農業士制度が、今年で10周年を迎えたことから、3月24日に宇都宮市内で記念大会を開催しました。大会では、この10年間における女性農業士のあゆみや経営参画、女性起業などの部会活動の成果発表が行われました。女性農業士が、農村女性のリーダーとして、今後とも農業農村発展の原動力になることを決意する大会となりました。





とちぎブランドを全国に 誇り輝く「とちぎ」びびく

本県には、豊かな自然や歴史・文化、農産物や工業製品など全国に誇れる地域資源がたくさんあります。県では、とちぎならではのすぐれた地域資源を「とちぎブランド」に育て、県内外に発信していくことで、地域を活性化しながら「とちぎ」全体のブランド化を図っていきたくと考えています。4月には「とちぎブランド推進本部」を立ち上げ、「商品・技術力のブランド化」「地域イメージのブランド化」「一元的な情報発信」を柱に、関係団体や市町とも連携しながら、総合的な取組を展開していきます。



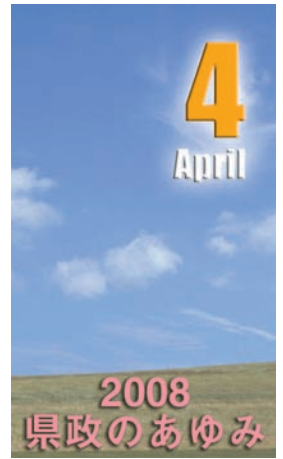
佐野高校附属中が開校 2校目の県立中高一貫教育校

本県では2校目となる県立中高一貫教育校として、佐野高等学校附属中学校が4月に開校し、一期生105人(男子52人、女子53人)が入学しました。佐野高中高一貫教育校では、確かな学力と豊かな人間性を基盤とし、文化芸術活動を柱とした教養教育、自己実現を目的としたキャリア教育、実践的コミュニケーション能力育成のための英語教育など、特色ある教育活動を計画的・継続的に行い、国際人として活躍できる真のリーダーの育成を目指します。



安全で安心な地域社会へ 警察本部に地域部を新設

県警察本部は、皆さんにとって最も身近な交番・駐在所などの地域警察官による犯罪の抑止・検挙や交通事故防止などの活動を通じて、地域社会の安全と平穩を確保し、県民の期待と信頼に応える活動を推進するため、4月1日に「地域部」を設置しました。地域部は、地域課、通信指令課、機動警察隊の2課1隊から成り、県内の地域警察官は、全警察官の約3割を占めています。基本理念は「強く、やさしく、頼もしい地域警察」とし、パトロールや立番など街頭活動を強化し、安全で安心な地域社会の実現に向け取り組んでいます。



県庁で「みつばち」大活躍 新しい春の風物詩に

4月28日から1か月間「県庁で「みつばち」を飼おう！プロジェクト」と銘打って、県庁舎の屋上に「みつばち」の巣箱2箱（約8万匹）を設置し、県庁周辺のトチノキの花からはちみつを採取しました。この取組みは、県と県養蜂組合との協働によるもので、5月28日のはちみつ収穫には福田知事も応援に駆けつけ、41kgのはちみつが収穫されました。採れたのはちみつは、県庁内のレストランなどで特別メニューとして提供され、多くの県民が舌鼓を打ちました。「県庁周辺の春の風物詩」としての定着が期待されています。



館内をバリアフリーに 県立美術館がリニューアル

県立美術館は、スロープやエレベータの設置などバリアフリー化の工事を行い、4月27日にリニューアルオープンしました。リニューアルを記念したイギリスの芸術家12人による旅をテーマとする企画展を皮切りに、足利在任の現代作家展「長重之」展や、朝鮮絵画から若冲ら日本画家への影響を跡付けた「朝鮮王朝の絵画と日本」展、そして「茶の湯の美」展まで、さまざまな時代や分野の芸術を展覧して、好評を博しています。また、常設展示室にはマイセン磁器展示室を新設し約100点の作品を展示しています。



地域・世代を超えて交流

ねんりんピックとちぎ

高齢者の祭典「ねんりんピックとちぎ2008」が、とちぎ健康の森や宇都宮市内の競技施設などを会場に開かれました。5月23・24日には「健康・生きがいフェスティバル」、25日には「スポーツ・文化交流大会」が開催されました。会場では、加藤みどりさんの記念講演や絵画、書道などのシルバークロニクル展、卓球など18種目の競技大会などさまざまなイベントが行われました。県内各地から参加された元気な高齢者のみなさまが、日頃の鍛錬や努力の成果を披露され、地域・世代を超えた交流の場として大いに盛り上がりました。



県庁のロビーで演奏会

マロニエ県庁コンサート

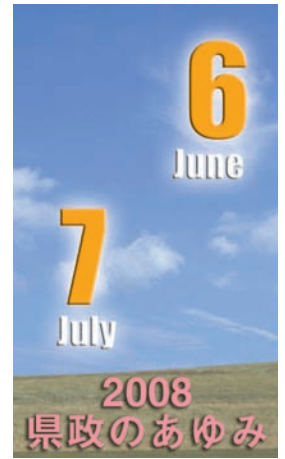
県庁を身近に感じてもらうとともに、一人でも多くの人に文化に親しんでいただけるよう、今年度から本館1階県民ロビーで「マロニエ県庁コンサート」を行っています。5月28日に開催した第一回のコンサートでは、宇都宮市出身の電子オルガン奏者、倉沢大樹さんが出演、「県民の歌」や「千の風になつて」をはじめピアノ二カによる「哀愁のミュゼット」など11曲を演奏し、会場を魅了しました。約600人の聴衆は、演奏に聞き入り、憩いのひとときを過ごしました。今後も幅広い分野のコンサートをを行うこととしています。

「大塚実みどりの基金」創設

ふなやま「とちぎ」応援寄附金

益子町出身で榊大塚商会名誉会長の大塚実さんが、6月6日県庁を訪れ、県に2億円を寄附されました。これは今年から導入されたふるさと納税制度を活用した本県への初めての寄附で、金額も全国屈指です。県は、学校などの緑化を進めるため寄附金を原資に「大塚実みどりの基金」を県緑化推進委員会に創設しました。11月28日には真岡市立真岡東小学校に大塚さんをお迎えし、同基金の創設記念植樹式を、福田知事、石坂県議会議長ら出席のもと行い、基金による初めての植樹として、ソメイヨシノなどが同校に贈られました。





**とちぎの技術ブランド190社を認証
栃木県フロンティア企業**

6月13日、県庁講堂で栃木県フロンティア企業認証式が行われました。式では、卓越した技術や市場占有率の高い製品を有し、他の模範となる活動を実践している企業190社に対し、知事から認証状が手渡されました。認証期間は11（平成23）年3月31日まで。その間、県では、新技術や新製品の研究開発に対する助成や専用ホームページでの情報発信などにより、認証を受けた企業を支援していきます。フロンティア企業には、県産業界のリーダー役として、更なる活躍が期待されています。



**海外栃木県人会との交流
在伯県人会創立50周年記念式典**

6月22日、ブラジル・サンパウロ市において「在伯栃木県人会創立50周年記念式典」が開催されました。本県からは、福田知事、石坂県議会議長、高橋町村会会長などが出席し、県人会の皆さんと交流を深めてきました。式典には、西林サンパウロ総領事や峰下アマゾン栃木県人会長、海外移住家族会などの関係者も多数参列して花を添えました。坂本県人会長の式辞や来賓祝辞の後、参加者が一つと一つ、日光和楽踊りやよさこいソーラン踊りなどを演じ、ふるさと栃木とブラジルとの間で、海を越えた交流が繰り広げられました。

**献血で未来へつなぐ命の輪
献血運動推進全国大会**

第44回献血運動推進全国大会が本県で開催されました。この大会は、多くの人に献血への理解と協力を求め、献血運動をより一層推進するために、7月の「愛の血液助け合い運動」月間に開催しているもので、7月17日に県総合文化センターで開催されました。今大会には、日本赤十字社名誉総裁の秋篠宮妃殿下をお迎えし、都道府県、日本赤十字社や県内市町の血液事業関係者ら約1400人が参加しました。第一部では献血功労者の表彰などを行い、第二部のアトラクションでは、デキシージャズの演奏会が開かれました。





**知事も操作方法を体験
県有施設にAEDを設置**

本年度、利用者が多い施設やスポーツ施設、教育施設などを中心に154台のAEDを設置しました。7月までに、全体で221台の設置となり、ほとんどの県有施設への設置が完了しました。また今回、AED設置施設に勤務する職員や関係者のほか知事、副知事、各部長もAED操作方法や心肺蘇生法を学びました。講習後、知事は「使い方は意外に簡単。誰でも同じような処置ができるよう、受講者を増やしてほしい」と述べました。県は、今後もAEDの普及や講習会の受講促進に努めていきます。



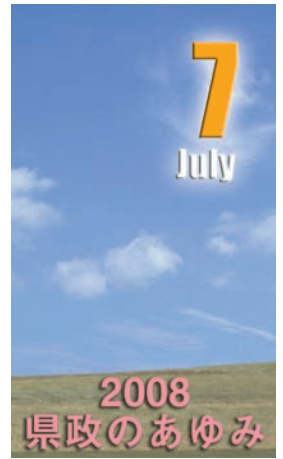
**自立した地方自治の実現を
「地方分権改革推進」栃木県大会**

第二期地方分権改革が進むなか、真に住民のためになる分権型社会の確立を目指して、本県地方6団体（県、県議会、市長会など）の主権により「地方分権改革推進」栃木県大会を7月7日に開催しました。大会には、知事や県議会議員、市町長、市町議員、来賓として本県選出国会議員のあわせて約450人が参加し、地方分権改革の推進を訴えかけるとともに、自立した地方自治の実現に向けた決意の表明を行いました。大会後、東京大学大学院の神野直彦教授が『地方が主役の国づくり』に向けて」というテーマで講演しました。



**「観光立国」テーマにシンポジウム
観光立国推進リーディングシンポジウムinとちぎ**

「観光立国推進リーディングシンポジウムinとちぎ」（主催・県、観光立国推進関東地区省庁連絡会議）を7月31日にとちぎ男女共同参画センターで開催しました。これは、08年10月の観光庁設置に先駆けて、観光関係者をはじめ、広く県民の方々に各種観光施策や地域の取組について理解を深めていただくことを目的としたものです。このシンポジウムでは、県と国の観光施策の説明に加えて、県内各地で観光振興やまちづくりに熱心に取り組んでいる5名の方々に講演をいただきました。参加者からは熱心な意見が寄せられ、大盛況となりました。



映像などで楽しく食を学ぶ 子どもの食育ライブラリー

県は、子どもの食育を推進するため、とちぎアグリプラザ食と農の交流室内に「とちぎ子どもの食育ライブラリー」を設置しました。ライブラリーには、映像ソフトをはじめ、子どもが楽しく食を学ぶことができるように、食育絵本や紙芝居、食育カルタなどが収められています。7月23日には、ライブラリーのオープニングイベントとして、幼稚園児をとちぎアグリプラザに招き、とちぎ食育応援団員による食育紙芝居や栃木県女性農業士による食育カルタ遊びが行われました。

洋らん生産者がグランプリ 全国農業コンクール全国大会

農業経営の成果を競う「第57回全国農業コンクール全国大会」が、7月24日、宇都宮市文化会館で開催されました。全国から選ばれた20代表が、1200人の聴衆を前に、先進的な農業技術や創意工夫を凝らした経営改善の取組などを発表しました。審査の結果、宇都宮市で胡蝶蘭の生産・販売を行う(株)キヌナーセリー(代表・齋藤英夫さん)が最高位のグランプリに輝き、JAはが野いちご部会(真岡市)、アグリランドシティシヨップ(宇都宮市)が名誉賞を受賞するなど、本県勢の活躍が光りました。



一斉打ち水で涼感体験 ストップ温暖化アクション

県民総ぐるみのストップ温暖化運動として、7月から10月にかけて展開した「とちぎ発」ストップ温暖化アクションを、より多くの方に知ってもらおうと、7月27日に、オリオンスクエア(宇都宮市)で「涼感まつり」を開催しました。会場では、アクションへの参加宣言を受け付けたほか、吹奏楽の演奏、水風船釣りや工作体験、苗木の配布など、見て、遊んで、楽しめるイベントが盛りだくさんでした。最後にゆかたファッションショーや一斉打ち水を行い「涼感」を体験し、「ストップ温暖化」への取組を盛り上げました。



県庁に賑わいの場が誕生 けんちょうde愛ふれあい直売所

県庁舎の有効活用と地産地消の情報発信を目的に、毎月18日(とちぎ地産地消の日)に、本館1階ロビーと昭和館前庭で農産物直売所「けんちょうde愛ふれあい直売所」を開設しました。毎回2000人を超える来場者で賑わい、ところ狭しと並んだ新鮮な農産物やこだわりの加工食品が次々に売れていきました。また、高校生などの授業の一環として体験販売や活動発表の場としても利用していたほか、8月には夏休み特別企画として子ども向けイベントを開き、多くの小学生や家族連れに楽しんでいただきました。



家庭教育を支えよう 家庭教育支援フォーラム

県内4地区で開催されるこのフォーラムは、子どもたちの健全な成長の基盤となる家庭教育を社会全体で支える取組として県全体で推進していくために実施しています。今年は2月に県南、8月に県央・県西、12月に県北と県東の各地区で開催しました。県北地区のフォーラムでは企業、団体、行政などの連携した家庭教育支援の取組について各市町ごとの発表とフロアディスカッションが行われ、家庭教育を支えるためにできることを話し合うことができました。



熱い情熱を燃やして 県障害者スポーツ大会

9月28日、第4回栃木県障害者スポーツ大会を県総合運動公園などで開催しました。この大会は、障害者の自立と社会参加の促進を目的とした障害者のためのスポーツ大会です。当日は、好天に恵まれ、約2000人の選手が参加し、たくさんの声援を受けながら、陸上競技やフライングディスクなど8種目の競技に汗を流しました。





県民の健康づくりのために メタボ阻止シンポジウム

9月14日、県総合文化センターで健康づくり普及運動を盛り上げていくことを目的とした「とちぎメタボ阻止シンポジウム」2000万県民の生涯健康を目指して」を開催しました。県内で健康づくりに携わっているボランティア団体などの関係者950人が参加したシンポジウムでは、渡辺文雄氏の基調講演のあと、5人のパネリストによる「1に運動・2に食事・3に禁煙、メタボ阻止！」をテーマとしたパネルディスカッションが行われ、最後に全員で「健康づくり頑張ろう！」を三唱しました。



100歳の篠崎さんに祝詞 知事が長寿を祝い訪問

福田知事は、今年度100歳を迎える真岡市の篠崎ゆきさんを9月11日に訪問し、祝詞と記念品を贈り長寿を祝いました。1909（明治42）年生まれの篠崎さんは、テレビでニュース番組や時代劇を見ることが好きで、健康の秘訣については、「食事は腹八分目にする」と話してくださいました。今年度県内で100歳を迎える方は、248人で、過去最高の人数です。



障害者用駐車場の適正利用へ おもいやり駐車スペース

9月から「おもいやり駐車スペースつぎつぎ事業」を開始しました。この事業は、身体に障害のある方や妊娠中の方などに対し、県内に共通する利用証を交付することにより、障害者用駐車場を利用できる方を明らかにし、本来に必要な人のために駐車スペースを確保するものです。9月1日には、県庁昭和館前で利用証の交付式を行い、栃木県車椅子の会の村上会長ほかのみなさんに利用証が手渡されました。今後も、障害などのある方々が安心してお出かけができるよう、思いやりとご協力をお願いします。





県と県教育委員会、とちぎ食育推進連絡会では、とちぎの食育元氣プランを推進するにあたり、県民の皆さんが食育について考え、意識を高めていただく機会として、食育シンボルマークと標語の募集を行いました。応募総数は、シンボルマーク部門473点、標語部門1019点でした。厳正な審査の結果、各部門最優秀賞1点、優秀賞2点を選考し、とちぎ食育推進大会2008において表彰しました。最優秀賞作品についてはポスターなどに使用し、食育の普及啓発を行ってまいります。

食育のシンボルマーク決定 応募総数は1500点

とちぎ食育シンボルマーク



とちぎ食育標語「いただきます全ての命に ありがとう」



**いちご王国「とちぎ」の座を守り育てる
全国初の「いちご研究所」**

本県のいちごは、生産量・販売金額とも全国1位を誇っています。また、本県が開発した「とちおとめ」は、現在、全国のいちご作付面積の3割を占めています。こうした「いちご王国「とちぎ」の座を守り育てるため、全国初となる「いちご研究所」を10月に設置しました。この研究所は、次代を担う新品種「ポストとちおとめ」や新技術の開発に加え、新たに消費動向などの調査・分析や研修などの機能も備えた、いちごの総合的な研究開発拠点となります。

「第21回全国スポーツ・レクリエーション祭 スポレク滋賀2008」が10月18日から21日まで滋賀県で開催され、本県から162人の役員・選手が参加しました。「全国スポーツ・レクリエーション祭」は、国民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の振興を目的として88（昭和63）年から毎年開催されており、11年度には本県で開催することが内定しています。17種目に参加した本県代表選手は、日頃の成果を十分に発揮するとともに、地元の人や全国各地からの参加者と交流を深め、友情の輪を広げました。

びわ湖からあふれる元氣 きらめく笑顔 スポレク滋賀2008





**アメリカで意見交換や交流
次世代人材づくり事業**

本県の次代を担う人材を育成するため市町と共同で実施する「次世代人材づくり事業」の参加者26人（青年リーダー14人、女性リーダー12人）が10月9日から15日までの7日間、本県の友好交流先であるアメリカ・インディアナ州を訪問しました。参加者は、高齢者医療施設や現地企業などを訪問し、現地スタッフとの意見交換などを通してその取り組みを学ぶとともに、ホームステイを行い交流を深めました。参加者たちは今後、これらの研修成果を生かし、地域のリーダーとして活躍することが期待されています。

**環境や森林を守り育てよう
EJ・もりフェア2008**

県民一人ひとりが環境問題を自分のことと考え、身近なことから環境保全活動や森林保護に取り組んでもらえるよう、10月11日から2日間「EJ・もりフェア2008」を開催しました。会場では、森林の魅力・森林づくりについての講演や学生による環境活動の発表、ソーラー工作や木工工作などが催されました。また、来場者は、飲食コーナーでのリユース食器の利用やマイバッグ・マイはしの持参など、環境に配慮した取組に積極的に参加し、環境や森林の大切さを実感するとともに、日常生活を見直す良い機会となりました。



渋滞対策社会実験を実施

日光市中宮祠地区



紅葉シーズンの10月25日から26日まで、日光市中宮祠地区で渋滞対策の社会実験を実施しました。二荒橋交差点を先頭とする第2いろは坂の渋滞を緩和するため、二荒橋交差点の右折禁止規制を行った結果、渋滞長が約2割減少しました。また渋滞の緩和だけでなく、右折禁止に伴う車の迂回誘導により湖畔駐車場の有効利用が図られ、歩行者の通行量も約1.4倍に増加し、同地区に賑わいが生まれました。県は今後、詳細な効果検証や課題の整理を行ったうえで、引き続き渋滞対策を進めていきます。



ヴォークリューズ県と友好交流拡大へ 交流協力に関する協定書に調印

10月15日、フランス・ヴォークリューズ県からクロード・オー議長が来県し、福田知事との間で交流協力に関する協定書の調印が行われました。両県は89（平成元）年に交流を開始して以来、相互の信頼関係のもと、女性や高校生の交流などを通じて友好を深めてきましたが、友好交流20周年を迎えるにあたり今後新たな分野における交流を促進し、交流の幅を一層拡大するために協定の締結に至ったものです。両県は今後、これまでの教育、文化面での交流に加え、観光や経済、大学間交流など新たな分野での交流を促進していきます。



おいしい食、楽しい農、元気な郷 「食と農 ふれあいフェア

「とちぎ『食と農』ふれあいフェア2008」が10月25日と26日に「発掘と創造」我がさと自慢の郷土「食」をテーマにマロニエプラザなどで開催されました。会場では、とちぎの郷土料理の展示・試食、発酵学の第一人者である東京農業大学の小泉武夫教授による食文化に関する講演会などが行われたほか、各市町の特産品、地域の農産物直売所・農村レストランが一堂に集まり自慢の野菜や加工品で会場が埋め尽くされました。さらに、農村文化の体験や郷土芸能などが行われ、6万8000人が爽やかな秋を楽しみました。



スポーツ会場で広報活動 飲酒運転根絶キャンペーン

警察本部では、県民の飲酒運転根絶気運を高めるキャンペーンの一環として11月3日、県内のプロスポーツチームと連携し、試合会場で、来場者に対し飲酒運転根絶を呼びかけるチラシ配布、場内放送や電光掲示板を活用するなどの広報活動を実施しました。「リンク栃木ブレックス」の試合会場では、県警のマスコット「ルリちゃん」も登場して、観客に飲酒運転根絶を訴えました。県内では、依然として飲酒運転による交通事故があとを絶たないことから、今後もあらゆる機会を通じ、飲酒運転根絶の広報活動を展開していきます。





地域の子育て支援を研究 地域組織活動指導者全国大会

子どもたちの健全育成を願い、各地の児童館などを拠点に地域ぐるみでボランティア活動を行う組織「母親クラブ」は、全国各地に約3300あり、約17〜18万人が参加しています。その指導者が母親クラブの発展・普及を目的に研修を行う「地域組織活動指導者全国大会」が、11月6日と7日に本県で開催されました。絵本作家いわむらかずおさんの講演や各地の活動事例発表、地域活動への問題提起ともなるフォーラムを行い、今後の子育て支援のあり方を研究しました。



走って人権の大切さをPR ラッピングバス出発式

11月5日、県庁昭和館前庭で人権啓発ラッピングバスのデザイン原画入賞者表彰式と出発式を行いました。これは、世代を問わず多くの県民に人権尊重の理念を伝えるため、公募したデザインを掲載した路線バスを運行するもので、今回が初めての試みです。バスのデザインには「一人ひとりの違いと、そのつながりの大切さ」を表現した日光市の大和田雪子さんの作品が選ばれました。バスは、09年3月31日まで宇都宮市内を走り、身近なところから人権の大切さを訴えています。

とちぎ暮らしの情報を発信 「とちぎ暮らし」住まいネット

県や県内の関係市町と関係団体で組織する「とちぎ暮らし」推進協議会では、主に東京圏にお住まいの方々の県内への二地域居住や定住を推進するため、11月11日から「とちぎ暮らし」住まいネット」事業を開始しました。県のホームページに「とちぎ暮らし」向け住宅を紹介するコーナーを立ち上げ、田舎暮らしを希望する方々の住まいのニーズに応えられるよう物件情報を掲載しました。同協議会では、こうした取組を通して東京圏の方々を県内に呼び込み、交流を深めることにより、元気で活力ある地域づくりを進めています。



■ "とちぎ暮らし"住まいネットトップ

"とちぎ暮らし"住まいネット



URL: <http://www.pref.tochigi.lg.jp/town/shinkou/gurashi/suainet0.html>



障害者の「働く」を応援

とちぎナイスハートバザール

障害者週間(12月3日から10日)に合わせ12月3日、障害のある方が社会で働くことについての理解促進と授産製品の販路拡大を目的に「ナイスハートバザールinけんちょう」を開催しました。会場となった県庁一階ロビーでは、障害のある方が直接販売を行い、自分たちで心を込めて作ったパンや手工芸品などを一生懸命PRしていました。また、訪れた人たちも、手作りの商品を通じ、暖かみのある交流を楽しみました。



乳がん検診の受診率向上へ

山田邦子さんが講演

乳がん啓発イベント「とちぎdeピンクリボン」を12月6日にとちぎ男女共同参画センター(パルティ)で開催しました。タレントの山田邦子さんが乳がんを発見し克服した自らの体験を語ったあと、がん看護専門看護師などの資格を持ち県内の病院で活躍する3人の看護師が、それぞれの経験から「乳がんについて知ってほしいこと」を発表しました。乳がんに関心のある方など350人が参加。乳がんは早期発見で治る可能性が高いことなど、知識の普及啓発と検診の必要性を呼びかけました。このほか関係団体による医療機器展示コーナーなども設けられ、来場者は熱心に説明を聞いていました。



栃木SCのJリーグ昇格が決定 プロスポーツチームを支援

12月1日のJリーグ理事会で、栃木SCのJ2昇格が決定しました。栃木SCは今季、日本フットボールリーグで2位の成績や、入場者数、財務状況、スタジアム確保(県によるグリーンスタジアム改修)などの昇格基準をクリアしました。多くの県民の応援を受け、来季のさらなる活躍が期待されます。この他にも、バスケットボールのリンク栃木ブレックス、アイスホッケーのHC日光アイスバックス、サイクルロードレースの宇都宮ブリッツェンの各プロスポーツチームが、栃木SCと同じく地域密着の理念の基に活躍をしています。県では、スポーツの振興や青少年の健全育成など様々な波及効果が期待できることから、県民全体で支える気運が高まるよう努めていきます。



10 月	1	食育シンボルマーク・標語決定
	3	とちぎ食育推進大会 2008
	4	ヒューマンフェスタとちぎ 2008 (5日まで)
	4	とちぎインターナショナルフェスティバル 2008
	6	いちご研究所開所式
	6	台湾マスコミ招請事業 (日光市などで10日まで)
	9	栃木県次世代人材づくり事業海外研修 (アメリカインディアナ州15日まで)
	11	エコもりフェア 2008 (12日まで)
	11	とちぎグリーンフェスタ 2008 (とちぎわんぱく公園・壬生町で19日まで)
	14	県優良木材展示会 (鹿沼市などで24日まで)
	16	県営土地改良事業の換地業務に係る感謝状贈呈式
	17	とちぎ住宅フェア 2008 (19日まで)
	18	全国スポーツ・レクリエーション祭 (本県選手団を滋賀県に21日まで派遣)
	18	セカンドライフビジネス支援交流会 (足利市)
	18	栃木県技能展 (19日まで)
	22	東谷・中島土地区画整理事業 (インターパーク) 感謝状贈呈式
	24	とちぎ企業立地セミナー (東京都)
	25	県子ども読書活動推進フォーラム (宇都宮市)
	25	とちぎ”食と農”ふれあいフェア 2008 (26日まで)
	25	栃木県伝統工芸品展 2008 見て!触れて!“とちぎの匠”まつり (26日まで)
27	高校生友好交流団浙江省派遣 (11月4日まで)	
30	関東ブロック農村青少年クラブプロジェクト実績発表会 (31日まで)	
11 月	1	市町村税徴収強化月間 2008 冬 (11月~12月)
	1	エコドライブキャンペーン
	1	「ミルクの国とちぎ」酪農フェア
	5	県文化功労者表彰式
	5	人権啓発ラッピングバスデザイン原画表彰式・出発式
	6	栃木県農産物等展示商談会 (宇都宮市)
	6	地域組織活動指導者全国大会 (全国の母親クラブが集まったの研修・交流。7日まで)
7	「とちぎ心のルネッサンス」運動推進県民大会	

11 月	8	とちぎ教育振興大会 (宇都宮市)
	8	フェスタ in パルティ 2008 (9日まで)
	8	とちぎものづくり技能競技大会
	11	“とちぎ暮らし”向け住宅情報を発信開始
	12	交通安全県民大会
	14	「世界糖尿病デー」記念イベント
	14	栃木県障害者文化祭「カルフルとちぎ 2008 ころのつどい」 (15日まで)
	16	栃木県知事選挙
	19	栃木県統計大会
	20	栃木県職業能力開発促進大会
12 月	21	第8回産業教育フェア (宇都宮市で22日まで)
	21	栃木県河川愛護連合会ポスターコンクール表彰式
	22	セカンドライフビジネス支援交流会 (那須塩原市)
	25	栃木県農業担い手躍進大会
	26	仕事と家庭の両立支援セミナー
	26	栃木県緊急経済対策本部設置
	27	第20回栃木県マロニエ建築・景観賞表彰式
	27	県さのこわさび展示品評会 (28日まで)
	27	DESIGN とちぎ 2008 November (28日まで)
	28	「大塚実みどりの基金」創設記念植樹式 (真岡市立真岡東小)
	1	「とちぎ土砂災害警戒情報」の携帯電話への配信開始
	1	「とちぎ経革広場 (産業支援ポータルサイト)」開設
	1	栃木 SC の Jリーグ昇格が決定
	2	とちぎ食品安全フォーラム
2	栃木県外資系企業誘致セミナー (東京都)	
3	県森林・林業コンクール表彰式	
3	とちぎナイスハートバザール in けんちょう (就労支援事業所などによる授産製品の展示即売会)	
5	県芸術祭表彰式	
6	とちぎ de ピンクリボン	
11	年末の交通安全県民総ぐるみ運動 (31日まで)	
15	中国観光交流推進事業 (旅行エージェント招請。那須町などで19日まで)	
18	バイオ燃料情報連絡協議会及びバイオマス利活用シンポジウム	
20	北関東自動車道 (真岡 IC ~ 桜川筑西 IC) 開通	
24	県南家畜保健衛生所新事務所開所式	

5月	9 とちぎ県南若者サポートステーション開所	
	10 第46回栃木県植樹祭(鹿沼市)	
	10 県看護大会	
	12 市町村長会議	
とちぎの環境美化県民運動・県市町連携行動(鹿沼市)、このほか大田原市・佐野市・茂木町で25日、小山市で6月1日実施		
20 とちぎの元気な森づくり県民会議総会		
20 とちぎ地産地消県民運動実行委員会		
23 ねんりんピックとちぎ(25日まで)		
28 第1回マロニエ県庁コンサート		
6月	2 不法投棄パトロール出発式	
	6 大塚実氏「ふるさと“とちぎ”応援寄附金」受け入れ式	
	7 県民の日記念行事(8日まで)	
	13 栃木県フロンティア企業認証式	
	15 県民の日記念式典	
	16 企業立地促進法同意書交付式	
	19 旅フェア2008出展(横浜市で22日まで)	
	22 在伯栃木県人会創立50周年記念式典	
	24 求人企業合同説明会(25日まで)	
	29 男女共同参画社会を考える「とちぎ県民のつどい」	
	7月	1 市町村税徴収強化月間2008夏(7月~8月)
		1 県有施設にAED設置
		4 交通安全子供自転車大会
		7 本県関係国会議員と知事とが懇談
7 「地方分権改革推進」栃木大会開催		
10 県芸術祭(11月23日まで)		
15 とちぎ特使と知事が懇談会(東京都)		
17 第44回献血運動推進全国大会		
18 けんちょう de 愛ふれあい直売所オープン		
18 「やすらぎの栃木路」横浜キャンペーン2008(20日まで)		
23 とちぎ子どもの食育ライブラリーオープン		
23 「企業サポーター制」開始		
24 ふれあい活動高校生のつどい		
24 ふるさと“とちぎ”応援寄附金募集開始		
24 第57回全国農業コンクール全国大会(25日まで)		
27 「“とちぎ発”ストップ温暖化アクション」プレイベント“涼感まつり”(宇都宮市)		

7月	28 福島・茨城・栃木・群馬・新潟の5県知事が会談(群馬県)	
	29 とちぎ企業立地セミナー(大阪府)	
	29 「やすらぎの栃木路」大阪キャンペーン2008(30日まで)	
	30 愛鳥週間用ポスター原画コンクール表彰式	
31 観光立国推進リレー・シンポジウム in とちぎ		
8月	7 第59回利根川治水同盟治水大会	
	8 とちぎ森の子サミット(こどもエコクラブ・緑の少年団交流会)	
	20 「映画と講演のつどい」(人権に関する強調月間行事)	
	21 レッツBuyとちぎ認定商品展示会(22日まで)	
	23 林業センター公開デー	
	23 フレッシュファーマーズフェスティバル2008(24日まで)	
	27 とちぎ産業集積懇話会	
	28 政策懇談会	
	29 とちぎ家庭教育支援フォーラム(年4回開催)	
	30 自然公園ふれあい全国大会(福島県で31日まで)	
	31 栃木県・日光市総合防災訓練	
	9月	1 那須甲子有料道路無料開放
		1 思いやり駐車スペースつぎつぎ事業スタート
		2 消費者問題を考えるつどい
4 県民福祉のつどい		
8 栃木県地方税合同納税相談会(東京などで12日まで)		
9 第48回栃木県公衆衛生大会、第46回栃木県公衆衛生学会		
9 救急医療週間記念大会		
11 100歳の篠崎さんに祝詞		
12 秋の交通安全運動行事「交通安全の火」分火式		
13 県民スポーツ・レクリエーションフェスティバル総合開会式		
14 とちぎメタボ阻止シンポジウム		
14 セカンドライフビジネス支援セミナー(宇都宮市)		
20 少年の主張発表県大会		
24 「やすらぎの栃木路」新宿駅西口フェア2008(27日まで)		
27 国民体育大会(本県選手団を大分県に10月7日まで派遣)		
28 もくもくまつり2008		
28 第4回栃木県障害者スポーツ大会		



2008 県政のあゆみ

- 1月
- 4 新県庁舎開庁式
 - 10 栃木県農業士・女性農業士・名誉農業士認定式
 - 13 中国観光交流推進事業（18日まで浙江省・香港ミッション派遣）
 - 15 DESIGN とちぎ 2008（16日まで）
 - 17 バイオマス利活用シンポジウム
 - 18 栃木県農産物等展示商談会 in 香港
 - 19 女性のための仕事と子育て応援講演会
 - 21 栃木県民防災の集い
 - 26 国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会（本県選手団を長野県に2月1日まで派遣）
- 2月
- 1 危機管理センター運用開始
 - 1 エコテックとちの環（宇都宮市で2日まで）
 - 1 アグリライフフォーラム 2008
 - 1 第57回関東東海花の展覧会（3日まで）
 - 1 栃木えりすぐりフェアinサンシャインシティ（3日まで）
 - 4 農業青年研究大会
 - 6 とちぎ夢大地フォーラム
 - 7 みどりと環境のコンクール表彰式
 - 9 栃木県文化振興大会
 - 9 とちぎ de ピンクリボン
 - 10 栃の葉国体記念「第25回健康マラソン大会」
 - 10 栃木ボランティア・市民活動フォーラム 2008 & NPO 見本市
 - 12 栃木県農業構造改革推進ほ場整備シンポジウム
 - 13 人権講演会 in 小山
 - 18 安全で安心なまちづくり県民大会
 - 18 いちごコレクション in 昭和館（19日まで）
 - 18 栃木県地域ケア体制整備構想策定
 - 18 韓国エージェント招請事業（日光市などで22日まで）
 - 19 国民体育大会冬季大会スキー競技会（本県選手団を長野県に22日まで派遣）
 - 21 第1回栃木県元気な農業コンクール
 - 23 一般国道408号真岡北バイパス部分開通

- 3月
- 1 市町村税滞納ぼく減月間（3～5月）
 - 1 日光自然博物館展示施設リニューアルオープン
 - 1 栃木県保健医療計画（5期計画）策定
 - 1 栃木県医療費適正化計画（1期計画）策定
 - 1 栃木県がん対策推進計画策定
 - 1 栃木県動物愛護管理推進計画策定
 - 1 とちぎ食の安全・安心・信頼性の確保に関する基本計画策定
 - 5 県南高等看護専門学校卒業式
 - 9 米国で開催された国際見本市に栃木ブースを出展（11日まで）
 - 14 県立衛生福祉大学校卒業式
 - 17 一般国道119号宇都宮環状北道路「関堀陸橋2008」開通
 - 18 農業大学校卒業式
 - 21 「とちぎ土砂災害警戒情報」の運用開始
 - 23 県道宇都宮向田線「宇都宮テクノ街道」部分開通
 - 24 女性農業士発足10周年記念大会
 - 25 とちぎの元気な森づくり憲章制定・公表
- 4月
- 1 佐野高等学校附属中学校開校
 - 1 とちぎの元気な森づくり県民税条例施行
 - 1 とちぎ観光・物産ガイド（観光ホームページ）開設
 - 1 第1期「とちぎハートフルトレイル」認証（第2期8月1日、第3期11月1日認証）
 - 4 春の交通安全運動「オープニングセレモニー」
 - 10 農業大学校入学式
 - 10 県立衛生福祉大学校入学式
 - 11 マロニエメイツ任命式
 - 15 春季苗木配布会
 - 16 バイオガスプラント竣工式
 - 18 「やすらぎの栃木路」フェア・イン・インディ 2008（茂木町で20日まで）
 - 22 とちぎブランド推進本部設置
 - 27 県立美術館リニューアル・オープン
 - 28 足尾植樹活動
 - 28 「県庁で“みつばち”を飼おう！」プロジェクト実施（4～5月）